

資料 1

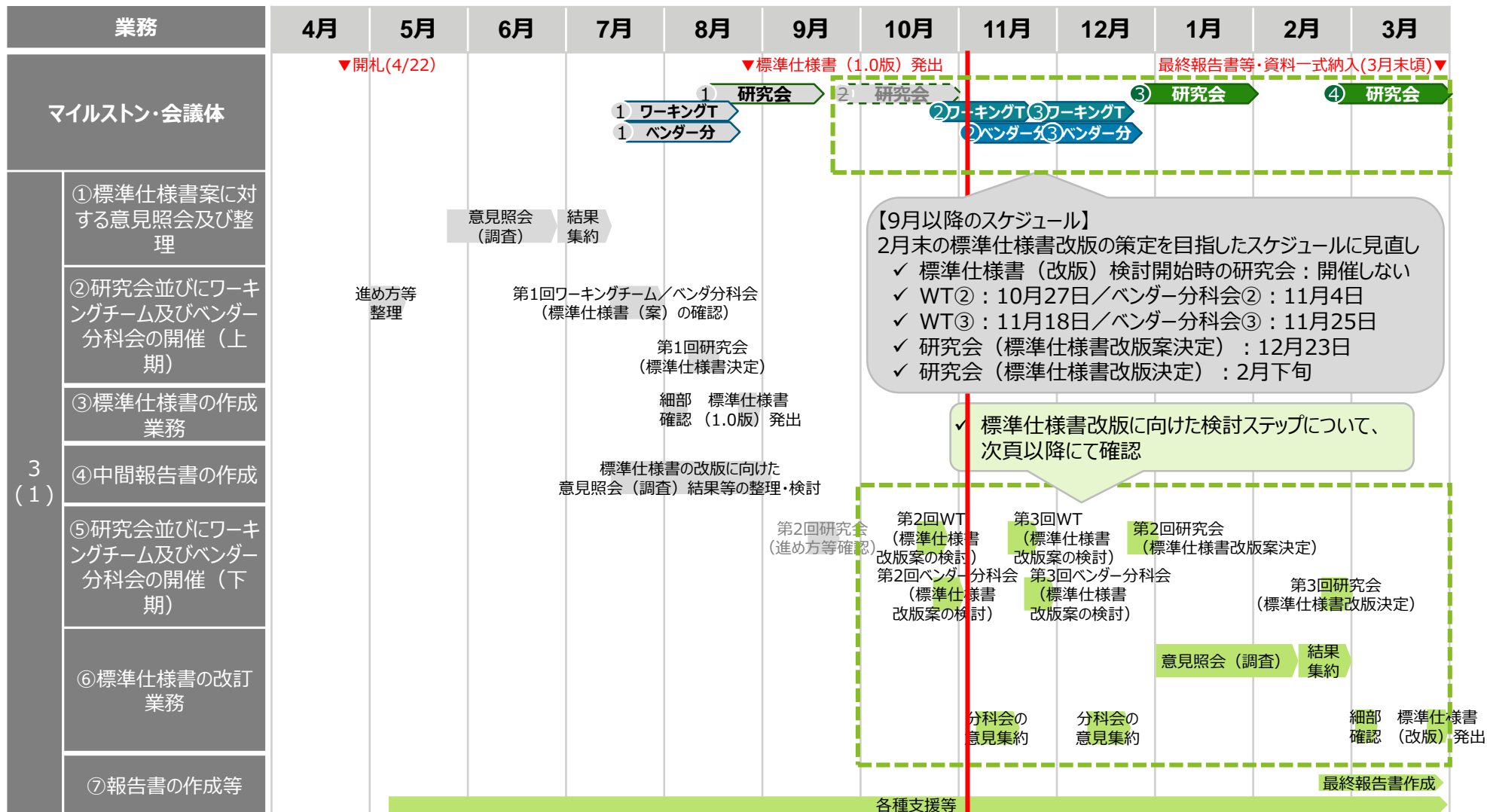
標準仕様書改版に向けた取り組み方針（事務局案）

1. 標準仕様書改版に向けた進め方

1. 標準仕様書改版に向けた進め方

1-1. 令和4年度全体スケジュール

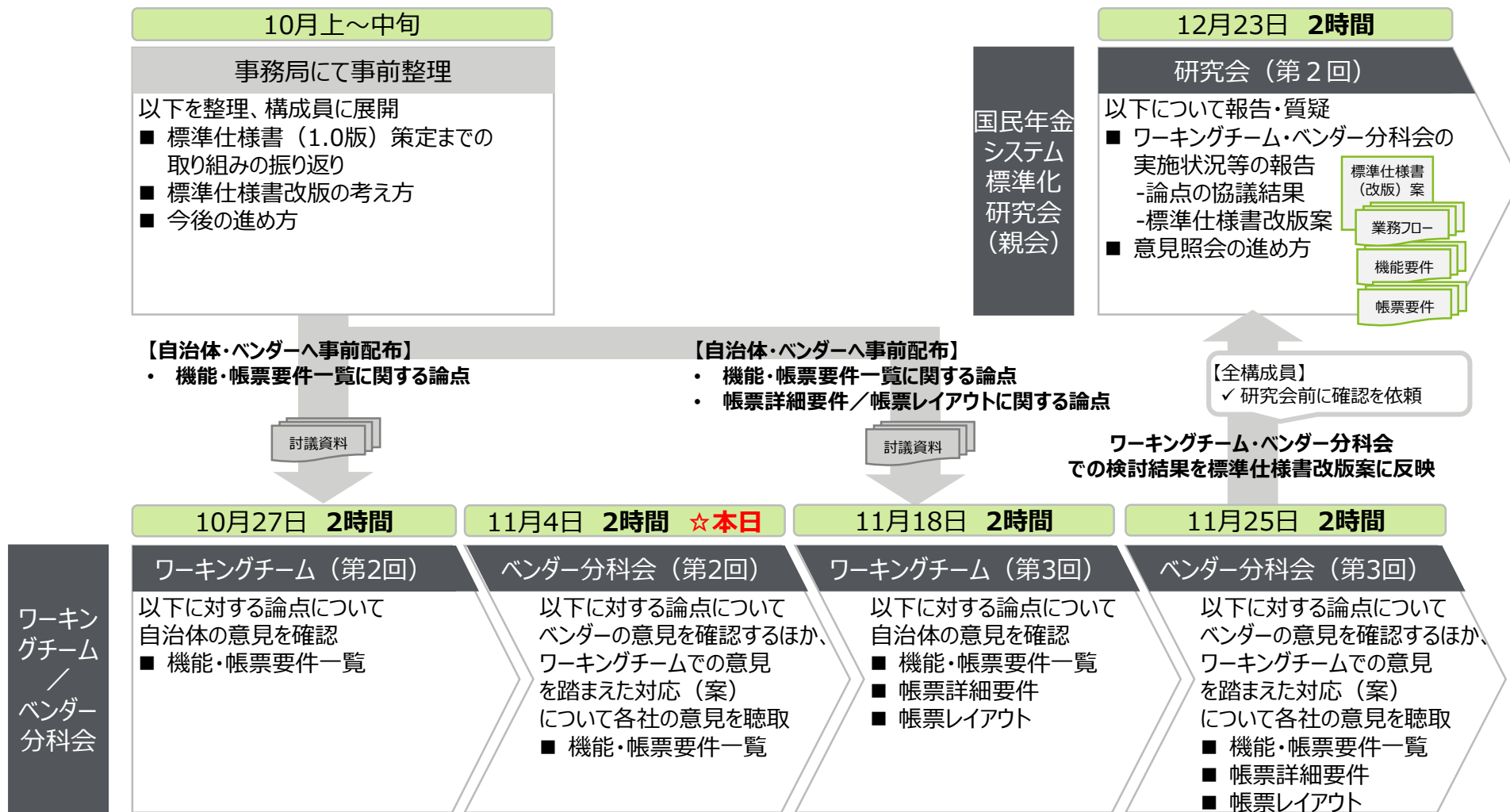
9～10月に予定していた研究会に開催は見送りとし、下期の検討はワーキングチーム及びベンダー分科会から開始する想定です。直近の作業スケジュールについては、次頁以降にて詳細を確認させていただきます。



1. 標準仕様書改版に向けた進め方

1-2. 検討ステップ[°]（事務局想定） 1/2

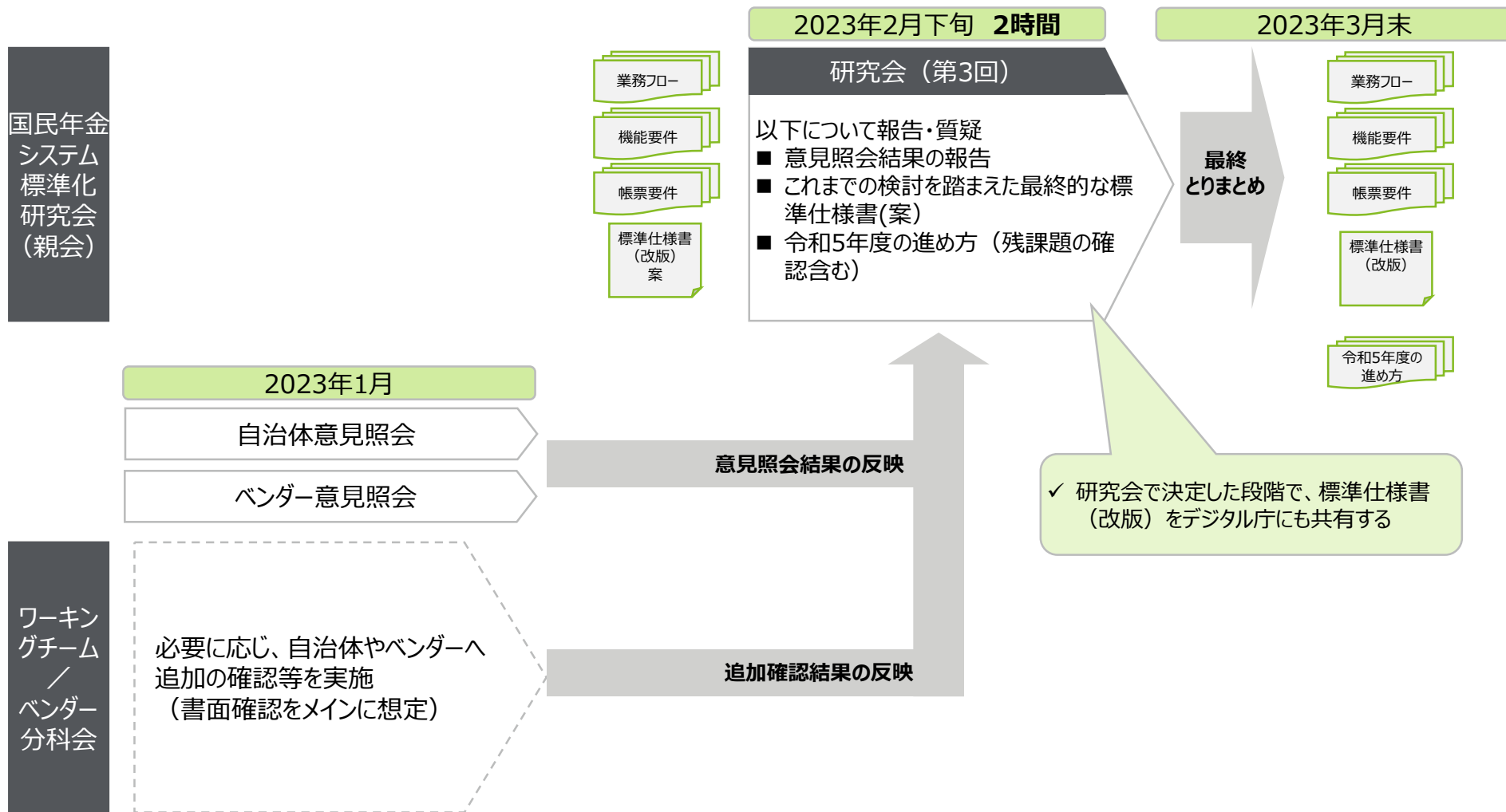
研究会は2回、ワーキングチーム及びベンダー分科会は各2回ずつ実施することを想定しています。



1. 標準仕様書改版に向けた進め方

1-2. 検討ステップ^o（事務局想定） 2/2

標準仕様書（改版）案について全国意見照会に諮った後、意見を標準仕様書に反映し、研究会（第3回）に提示します。その後、デジタル庁に共有し、データ要件・連携要件等との整合作業を実施し、3月末に標準仕様書改版を確定する予定です。



2. 標準仕様書改版に向けた論点確認

2. 標準仕様書改版に向けた論点確認

2-1. 標準仕様書（1.0版）以降の検討テーマ整理

10月以降の研究会に先立ち、標準仕様書（1.0版）では取り込み対象外とした事項を洗い出したうえで、今後の検討テーマを区分しました。

標準仕様書改版以降で対応すべき事項

内因 「研究会」起因	■ 申し送り事項（令和3年度分）	追加 見直し
	■ 申し送り事項（令和4年度分）	追加 見直し
外因	■ 領域間の整合作業 ・ 標準化全体に共通する事項／横並び調整方針への対応 ※改版以降の対応とした事項 ➢ 標準化基本方針 ➢ データ要件・連携要件の標準 ➢ 非機能要件の標準 ➢ ガバメントクラウドの利用基準 ➢ 共通機能の標準	追加 見直し
	■ 法令・制度改正対応	追加 見直し

検討テーマとして再整理

検討テーマの区分（案）

業務機能の追加	① 新規機能・帳票の追加	標準化済みの業務に係る新規機能・帳票の追加
	② 新規業務（及び機能・帳票）の追加	標準化されていない業務の追加とそれに伴う機能・帳票の追加
業務機能の見直し	③ 標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化	標準仕様書（1.0版）の品質の向上の観点から改善を図る事項
	④ 法令・制度改正予定の標準仕様書への反映	標準仕様書（1.0版）決定以降の法令・制度改正内容の標準仕様書への反映
	⑤ 年金機構側の業務変更を伴う事項に関する対応	日本年金機構との調整を要する業務・機能の見直し
その他追加・見直し	⑥ 横並び調整方針への対応	横並び調整方針のうち、1.0版に未反映の事項についての対応
	⑦ 共通事項への対応	標準化業務の共通事項との整合確認及び標準仕様書への反映

2. 標準仕様書改版に向けた論点確認

2-2. 改版に向けた論点（案）

各検討テーマ区分に対応する討議事項を精査し、ワーキングチーム及びベンダー分科会にて取り上げる具体的な検討論点を洗い出しました。

検討テーマ区分		討議事項（案）		区分
①	新規機能・帳票の追加	1	■ 1.0版では標準化対象外とした帳票の標準化範囲について	帳票詳細要件／レイアウト
		2	■ 各種一覧の標準仕様書の取り扱い及び要件化範囲	機能・帳票要件一覧
②	新規業務（及び機能・帳票）の追加	-	※該当する事項なし	-
③	標準仕様書の精度向上・要件化範囲・内容の最適化	3	■ 帳票詳細要件及び帳票レイアウトにおける定義項目の範囲の考え方	帳票詳細要件／レイアウト
		4	■ 計算・判定を行う機能における要件の記載方針	機能・帳票要件一覧
		5	■ 各種業務及び機能要件に関する記載最適化	機能・帳票要件一覧
		6	■ 各帳票様式の見直し基準	帳票詳細要件／レイアウト
		7	■ 事務処理基準に基づき受付処理簿に記載する項目のシステム化範囲	機能・帳票要件一覧
		8	■ 各種処理条件に関する記載の標準仕様書上の取り扱い及び要件化範囲	機能・帳票要件一覧
④	法令・制度改正予定の仕様書への反映	-	※該当する事項なし	-
⑤	年金機構側の業務変更を伴う事項	-	※中長期的課題（年金機構と自治体間の報告・送付対象情報及び手段の整理）	-
⑥	横並び調整方針への対応	-	※該当する事項なし（調整方針に沿って標準仕様書を更新のうえ、研究会にて報告）	-
⑦	共通事項の整備への対応	-	※該当する事項なし（平仄を合わせる形で標準仕様書を更新のうえ、研究会にて報告）	-

2. 標準仕様書改版に向けた論点確認

2-3. 改版に向けた論点（案）・討議事項における議論のポイント

各討議事項について、議論のポイントとして以下を想定しております。

討議事項（案）		議論のポイント（事務局想定）	WT/ 分科会
1	■ 1.0版では標準化対象外とした帳票の標準化範囲	✓ オプション帳票として帳票要件（項目及びレイアウト）を定義し、標準仕様書改版に盛り込むにあたり、対応方針（反映対象等）を整理する	第3回
2	■ 各種一覧の標準仕様書の取り扱い及び要件化範囲	✓ 自治体内部での業務にて利用することを目的とした各種一覧に関する機能要望について、要望を分類し仕様書への反映方針を整理する	第2回
3	■ 帳票詳細要件及び帳票レイアウトにおける定義項目の範囲	✓ 帳票出力項目に対する機能要望（所得状況届における項目等）について、要望を分類し仕様書への反映方針を整理する	第3回
4	■ 計算・判定を行う機能における要件の記載方針	✓ 制度改正に伴い変更される値（年金生活者支援給付金の所得限度額、各種加算額等）について、保守性等の観点から保持方法を検討する	第2回
5	■ 各種業務及び機能要件に関する記載最適化	✓ 標準業務フロー及び機能・帳票要件一覧に対する「追加」「削除」等の要望について、業務視点から整理するとともに要件化として定める内容を整理する	第2回
6	■ 各帳票様式の見直し基準	✓ 業務効率化・住民サービス向上の視点からの機能要望（相談業務に係る機能、AI-OCR）について、要望を分類し仕様書への反映方針を整理する ✓ 各種帳票における項目の「追加」「削除」等の要望について、要望を分類し仕様書への反映方針を整理する	第3回
7	■ 事務処理基準に基づき受付処理簿に記載する項目のシステム化範囲	✓ 「受付処理簿」に関する項目として寄せられた要望に関し、「受付処理簿」として管理が必要な項目を整理した上で、仕様書への反映方針を定める	第2回
8	■ 各種処理条件に関する記載の標準仕様書上の取り扱い及び要件化範囲	✓ 機能要件として寄せられた要望について、「機能として定める範囲」「設計の範囲で検討する範囲」を整理した上で、仕様書への反映方針を定める	第2回

2. 標準仕様書改版に向けた論点確認

2-4. ワーキングチーム及びベンダー分科会における討議事項（案）

改版に向けた論点整理結果を踏まえ、ワーキングチーム及びベンダー分科会にて取り上げる討議事項を整理しました。事務局にて議論の方向性を事前に明らかにした上で、討議いただく想定です。

【第2回WT／ベンダー分科会】

機能・帳票要件一覧

- 論点①：各種業務及び機能要件に関する記載最適化
 - 資格異動（種別変更）
 - 資格異動（海外転出）
 - 年金生活者支援給付金
- 論点②：各種一覧の標準仕様書の取り扱い及び要件化範囲
- 論点③：計算・判定を行う機能における要件の記載方針
- 論点④：事務処理基準に基づき受付処理簿に記載する項目のシステム化範囲
- 論点⑤：各種処理条件に関する記載の標準仕様書上の取り扱い及び要件化範囲

【第3回WT／ベンダー分科会】

機能・帳票要件一覧

- 論点⑥：要件種別定義の基準
 - ※意見照会の進め方として取上げ

帳票詳細要件／帳票レイアウト

- 論点①：1.0版では標準化対象外とした帳票の標準化範囲
- 論点②：帳票詳細要件及び帳票レイアウトにおける定義項目の範囲の考え方
- 論点③：各帳票様式の見直し基準

+α（第2回WT／ベンダー分科会に基づく討議事項）